

市長と語る会(古山地区住民自治協議会)

平成27年7月18日(土)午後7時30分～午後9時
古山地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
小学校の跡地利用について	<p>小学校閉校後の体育館使用について、4月からは地域で行事をする時は使えるが、定期的なバレーボール教室やカローリング教室等、サークル的な使い方はできないと聞いた。それを規制緩和してほしい。</p> <p>電気代を自治協で支払えと言われても、莫大過ぎて地域ではなかなか払えない。 小学校は自治協の一つの活動の場である。教育面だけでなく防災面もある。避難所にも指定されている。体育館だけでも住民が集まれるようお願いしたい。</p> <p>教育総務課から、今後の使用について、水道、電気の基本料だけでも300万円ぐらいかかるので維持管理していくのは難しいと言われた。 社会教育施設に変更したら使えると聞いたが、財源はどうか、そこが一番知りたいところです。</p> <p>学校の件は、市としてどうしていくのか方針だけでも出してもらったほうが良いと思う。 使わない教室はそのまま置いておくと、いつかは壊さなければならなくなる。必要がないものは更地にする方針を立たほうが良いと思う。</p>	<p>地元の方が、あるものを管理していただいて、有効に使っていただくことは良いことだと思います。 地域で使っていただき親睦を深めていただきたいと思います。経緯を教育委員会に確認し報告します。</p> <p>体育館の管理は、基本的には地元でマネジメントしていただくことになると思います。地域包括交付金の中で優先順位を付けていただくことになると思います。</p> <p>300万円は全体の数字だと思いますが、どのエリアを使うのか、どういう使い方をするのか、精査したら、違う数字が出てくるかもしれません。 調べてみる必要があります。</p> <p>どのように利用するのか、どの部分を使いたいのかということがまず第一。建物は置いておくだけでもお金がかかります。 4月から法律が変わり教育委員会に意見を言えるようになりましたので、小学校の跡地利用についてももしっかり話をしていきます。</p>
地域支援事業について	<p>交付金をよく頑張っているところにたくさん出すということは、よく分かるが、企画をできる人がいれば良いが、そうでない場合も多々あると思う。 行政のほうから、こんなものがあるということを提示して、その中から選択するなど、行政の支援、指導をいただきたい。</p>	<p>いろんな補助メニューの情報を住民の皆さんにお知らせすること、たとえば市民センターで見ただけのようにすることも大事だと思います。</p>
地域医療体制について	<p>二次救急は、名張へ行ったり、岡波へ行ったり、場合によっては水口へ行ったりしている。病院の現状について聞きたい。</p>	<p>皆さんのご要望は、地元で完結できる医療体制だと思います。去年、総務省のアドバイザーにいろんな角度から上野総合市民病院の評価をしていただきました。 経営も含めて言うと、抜本的な改革が2年以内にされない限り、病院の将来は難しいとのこと。医療そのものと同時に、経営の改善ということで、いろんな可能性を探っていかなければいけないと思っています。 また、岡波病院と市民病院の機能分担も必要と考えています。</p>

線引きについて	線引きについて、旧上野市とそれ以外の地域で差がある。線引きを外してくれる方向か。	区域区分(線引き)を外し、条例でコントロールをするよう作業を進めています。地域でどういふふうにするかルールをみんなで作るようになります。線引きは外れますが、条例でルール化することになります。
道路整備について	ライスセンターへ行く道路は、市道の幅が狭く、人の土地に入り込んで通っている。退避場所をつるとかできないのか。山の草が覆いかぶさってきて、車が一台しか通れない状況である。地権者に警告できないのか。道を広げると余計に交通量が増えるので、それはあまり良くない。今ある道を通りやすい状態にできれば良い。草刈は市がしてくれるが、その手前までしかしてくれない。	すぐにはできないと思うが、担当部局で検討させます。危険回避するにはどのような方法があるのか、後日市長に報告させ、検討のうえ返事します。
空き家対策について	空き家の情報をデータベース化して、ホームページ等に掲載してはどうか。農業をしたい、田舎で住みたい人が情報を得て、来てくれる人もいます。まだ手を付けていないのであれば、市として取り組んでいただきたい。	5月26日から空き家対策特別措置法が施行されました。市では、平成25年4月から管理されていない老朽空き家には通知、勧告して対処していましたが、この法律により、併せて利活用ができるように、今年度中に、空き家対策計画を策定する予定です。 その前段として、空き家がどれだけあるのか調査をして、データベース化します。伊賀市全域の空き家を把握したいと考えています。 (株)まちづくり伊賀上野が、上野市街地の空き家を対象にパソコンに登録しています。いずれは、伊賀市全域に広めたいという意向は持っています。
	所有者からすると、市や公益的などころが入っているほうが、安心して貸すこともできる。	知らない人には貸したくないという不安があるようです。安心感を担保しないと難しい。その辺が課題です。需要はあるので、そのマッチングに努めていきたいと思っています。
自治センター化について	自治センター化の目標は平成30年と聞いているが、どうか。	何年何月ということは言いません。地域によって熟度が違います。最終的に自らの地域は自分たちで。名張市のように自治センター化が現状です。
地域づくりについて	自分たちのことは、自分たちでやるようにしていくという方針であるが、古山は高齢の世帯が多い。世帯数が減っている。世帯数に応じて交付金を出すということであれば世帯数が減れば交付金も減っていく。どうやって、やっていけばいいのか不安である。	来年から、自治協の皆さんを対象に、地域マネジメントや自治の研修会を考えています。地域づくりの基本あるいは方策を勉強していただくと考えています。また、農業の担い手の皆さんに、短期プログラムの勉強に行っていたかどうかと思っています。